

安全だより

安全就業5-7号



令和5年10月16日

公益社団法人 東部広域シルバー人材センター

季節のたより

今年は夏の暑さが過去1位となっただけではなく、9月にかけても記録的な暑さが続きました。

○まずは猛暑日日数が過去最多

今年は47都道府県庁所在地のうち20地点で35℃以上の猛暑日が過去最も多くありました。

○東京の猛暑日は今年22日で過去最多。これまでの記録は2022年の16日でした。ちなみに、東京の年間の猛暑日の平年は5日程度。

○真夏日も過去最多

猛暑日だけでなく、30℃以上の真夏日も20を超える県庁所在地で過去最多となっております。東京は9月末までで90日。これまでの記録は71日です。

○温暖化の影響

今年の猛暑の原因はエルニーニョ現象発生なのに、これまでのラニーニャ現象の影響も残るなどの珍しい状態ではありました。

10月も半ばに来ますと、暑さも落ち着き始め、陽の落ちるのもずいぶん早くなり、日に日に秋の深まりが感じられるようになりました。

今月の24日には二十四節気の霜降(そうこう)を迎えます。

時雨が降った後に、雨の露と陰気が結びつき霜が降りて柱になる。という意味です。

これから、日増しに秋も深まり、もみじや楓は紅葉します。

一年中で最も活動しやすいこの時期、健康管理に努め、若さと体力をいつまでも保ち、安全就業を励行されますようにお願いします。

会員の皆さんと安全就業

シルバー人材センター事業は、高齢者の新しい就業システムとして着実に地域に浸透し、定着してまいりました。

この事業は、健康で働く意欲のある高齢者が自らの人生を就業を通じて「いきいき」としたものにしていこうということが主旨ですから、事故に遭う、また事故の不安を抱えて就業するということはありません。

会員の皆さんに共通して大切なことは、「仕事を仲間と分かち合って仲良く就業すること」と「安全の確保は最優先の課題である」ということです。

事故から身を守るためには、会員の皆さん、一人ひとりが仕事を選ぶときから安全は自分の問題として取り組む、すなわち、「安全=自己管理」という意識を持つことが最も大切です

◎安全就業に努めましょう

安全就業の心得10ヶ条 >

- ① 健康管理に留意しましょう
- ② 仕事の前日は、十分睡眠をとりましょう
- ③ 仕事に適したものを着用しましょう
- ④ 仕事の前に準備運動をしましょう
- ⑤ 器具用具は仕事の前に必ず点検しましょう
- ⑥ 身体の機能低下を認識しムリしないこと
- ⑦ 仕事は安全第一に心がけましょう
- ⑧ 就業現場は常に整理整頓を心がけること
- ⑨ 共同の仕事は合図・連絡を正確に行うこと
- ⑩ 行き帰りも仕事のうち、交通事故に遭わないようにしましょう

「いつまでも、働く喜び、無事故から」

(令和2年度から4年度まで安全就業全国統一スローガン)